

平成 27 年度 事務事業評価(議会)  
(平成 26 年度決算)

分科会評価結果

分科会名	厚生分科会				整理番号	厚生一2		
事務事業名	乳児家庭全戸訪問事業							
評価区分 (事務事業の方向性)	1	拡充	②	継続	3	終期設定し終了	4	休止・廃止

〈上記評価区分とした理由、改善内容、提案事項等〉

本事業は、生後4か月を迎えるまでの、全ての乳児のいる家庭に対し、保健師、助産師、看護師、主任児童委員のいずれかが居宅を訪問し、育児に関する不安や悩みの傾聴、相談等を行う事業である。

乳児のいる家庭の地域での孤立化を防ぎ、育児不安の軽減や児童虐待の予防につながることから、事業の必要性は高いと認められるため、継続とした。

さらに、この事業には、養育支援事業等のサービスを提供するなどの継続支援につなげる効果が認められるため、今後も関係機関と連携し、効果的に事業を展開するよう求める。